

## 多様性を創出する「場づくり」を目指して

本イベントは高校生や大学生、障がいのある人を支援をしている方、障がい者当事者、その他多くの方々に協力をいただき実施するアート週間です。障がいのある人が制作したアートを展示し、多様な人々が集まり「対話」することにより、この地域にどのような多様な人たちが集まる場づくりができるのかを考えます。アート展は実験的に複数箇所で開催し、街中アートとして日常で障がいのある人、高校によるアートワークに触れられる機会を提供します。

### “違い”を受け入れ合う社会の構築へ

人は誰もが「違う」という当たり前を受け入れることから、多様性を育む社会は始まると思います。多様というのは平坦な道ではなく、柔軟さや新しいものを受け入れる力が必要です。一人一人が持つエネルギーによって「障がいのある人によるアートワーク」を新しい時代の多様性社会にアップデートした新しいムーブメントを目指します。地域に住む個々の「違い」に向き合い、地域の多様性を育むことを目的とします。

### NANAiROとは

ナナイロは学ぶこと、働くこと、社会に関わることに障がいを感じる人たちが、その人らしい生き方を社会がサポートできる仕組みづくりに関わっていきたくと考え活動をしています。だれもがみんな違う困難さや生きづらさを持っている。そんな心の国境がない場づくりを目指しています。



## 対話が生み出す場とは？



彫刻家  
マツモトアートセンター代表  
北澤 一伯

ナナイロ実行委員会さんからお話を伺って、素敵な、大切なイベントだと思いました。20世紀まで優勢だった近代的な芸術は、ジャンルの枠組みのなかで表現や独自性を競い、自律を重んじましたが、いま私たちが分かち合う芸術実践はもっと多様で、さまざまな価値づけの契機に開かれています。「ナナイロ」の活動が、共にあることを認め合い、活かし合い、称え合うような、充実した機会になればと思います。参加のかたちもいろいろ。ふと会場を訪れて誰かと話してみる、そんな気軽さも大切でしょう。心温かな11月となりますように。

多様性のことを無関心な日常も、アートをもっと理解したい感性も、漢字をひらがなで書くように、ひとつの工夫をこらすことで新しい方向へ動き出すと思います。こうした場所が実現することは、気持ちの暗がりが見えることとリンクしています。人と人が交流し、無数のアンテナが立ち上がる状況をつくることで、お互いとお互いが繋がっているという実感を受信できるスペースができ、そこで継続できる対話が生まれるならアートの力が滲み出たといえるでしょう。



林 和輝  
エクセラシオン高校教員・画家

今回、高校教員として生徒と共に参加させていただきます。普段美術を学ぶ生徒たちにとって、多様性について考える事はとても重要な事であり、貴重な経験だと感じます。展示の構成など考えながら、生徒たちには楽しんでほしいですし、僕自身もこの活動に参加させてもらい多くを学びたいと思っています。



蛭田 香菜子  
エクセラシオン高校教員・美術作家



金井 直  
信州大学人文学部  
哲学芸術論コース教授

仕事や学校の行き来だけでは普段出会えない、いろんな立場の方々と出会えることはとても貴重な経験です。それぞれの特技を活かして社会で充実した生活を送りたいと前向きに思えるような場になればいいなと思っています。

### イベント概要

- 1 展示  
複数の場所でのアート作品の展示を行う。
- 2 場  
多様な世代のデザインセッションの場を創出する。
- 3 対話  
対話を通して多様な世代がつながる場づくりを目指す。

## クラウドファンディング でつくりたい未来

### 100人のコミュニティメンバーを募集！

私たちの間にはあらゆる“違い”があり、誰もが何らかのマイノリティーの部分を持っているのではないのでしょうか。にも関わらず、学ぶこと、働くこと、社会に関わることに障がいを感じている方が多くいます。そんな方々の生きづらさに向き合い、その人らしい生き方をサポートしていきたい。私たちは様々な立場の方々の関係性や、デジタル社会にむけた新しい可能性と新しいつながりを組み合わせていくことで、誰もが自信を持って生きることのできる場を作っていきたいと考えています。まずは“生きづらさ”に関する感性の高い方々と繋がりたいと思っています。皆様のご協力よろしくお願いたします!!

詳細はこちら

詳細はクラウドファンディングページへ!

<https://readyfor.jp/projects/nanairodesign>

CHECK!



サポーター



対話アートWEEKを  
ご支援いただける  
企業/個人を大募集!

パートナー

エクセラシオン高校  
長野県松本県ヶ丘高等学校  
信州大学人文学部金井ゼミ  
長野県西駒郷  
ザウメキアート展実行委員会

後援

松本市

## 障がいのある人によるアートのデジタル化を支援する DAOプロジェクトを始動!

#Giveaway でNFTのキャンペーンを予定しています。

詳細はWebまたはSNSにて発信します。

最新情報は  
こちらから

WEB SITE

<https://nanairo.design/taiwaweek2022>



Instagram  
nanairomag



Twitter  
hello\_nanairo



多様性を認めあい共生できる場をデザインする

# 対話アート NAGANO WEEK

2022.11.19sat → 25fri

ナナイロ会議

2022.11.19sat・20sat



NANAiRO



カミジョウミカ / いろんな眼が飛びついてくる / 2022

詳しくはこちら <https://nanairo.design/taiwaweek2022>



ナナイロ会議実行委員会

070-6976-2475 (平日 10時~17時)

community@nanairo.design

長野県地域発元気づくり支援金活用事業

# 対話アート WEEK NAGANO

障がいのある方の作品を中心としたアート展を松本の街中6ヶ所で開催いたします。

2022.11.19sat → 25fri

## 展示期間・場所

- 10/28 - 11/24 (休館日月)
- 1 松本市中央図書館 2F 松本市蟻ヶ崎2-4-40
  - 11/14 - 11/25
  - 2 松本市中央公民館 2F 松本市中央1-18-1 Mウイング南 2F
  - 11/19 - 11/25
  - 3 信毎メディアガーデン 松本市中央2-20-2
  - 4 マツモトアートセンター 松本市大手1-3-32笠原ビル
  - 5 ギャラリーノイエ 松本市大手3-2-17 KKビル2F
  - 6 八十二銀行 ウィンドウギャラリー 松本市大手3-1-1

## アクセス

各会場までの近隣駐車場は有料のみになります。(図書館は有)公共交通機関をご利用ください。

### ご来場の際のお願い

- ・ご来場の際はマスクの着用等、あらゆる感染防止対策にご協力いただきますようお願いいたします。
- ・新型コロナウイルス感染の拡大状況などの諸事情により開催の延期または中止、イベント内容の変更が発生する場合がございますのでご了承ください。
- ※イベントに関する最新の情報は本イベントのホームページをご確認ください。



1つのものさしでは、はかれない  
多様性を認めあいながら働いて？

# ナナイロ会議

2022.11.19sat・20san

会場 信毎メディアガーデン3Fスタジオ(地図 ③)

テーマ **人と、働く。**  
多様な人と働く場づくりとは

多様性を尊重した「働く場」が増えてきている一方で、違和感や生きづらさを感じる人も増えています。本来、「色々な人が働きやすい場」を作れるはずの「多様性尊重」について、「障がい・特性の有無」「支援する/される人」という枠組みを取っ払って、同世代で深めてみましょう。



ワークショップデザイナー。社会が作る障害、個人が感じる生きづらさを減らす「場創り」を行う。皆さんは「障害者」という言葉から何を、誰を連想しますか？ ワークショップでは障害を本質的に深めます！より多くの人が生きやすくなるきっかけになりますように。

詳細はSNSで  
発信します！

プレキックオフイベント  
10月下旬を予定!

## スケジュール

11.19sat	
11:00 キックオフイベント トークテーマ:多様な人が集まる場づくりとは	・遊覧潜水 代表/おどりは主宰 波多腰運 氏 ・一般社団法人Otonoha 小林未歩 氏 ・美術作家、長野県西駒郷支援員 小川泰生 氏
14:00 シニア世代が考える(60代~) ピッチ・ゲストスピーカー1h 16:30 世代別ディスカッション1h30	・グループホームこっこちち経営者 山口 政佳 氏 ・ディアパートナー行政書士事務所 瀧澤重人 氏
11.20san	
10:00 若者が考える(10代~20代) ピッチ・ゲストスピーカー1h 12:30 世代別ディスカッション1h30	・D.A.C所属 バラ陸上競技選手 池田樹生 氏 ・信州大学 教育学部 教授 高橋知音 氏
14:00 働く世代が考える(30代~50代) ピッチ・ゲストスピーカー1h 16:30 世代別ディスカッション1h30	・株式会社 デジリハ代表取締役 岡勇樹 氏 ・フリースクール アドバイザー 市川寛 氏

## 交流会 開催

- ピッチ 話す**  
自分から多様性について発信する場
- ゲストスピーカー 聞く**  
ゲストスピーカーからの話を聞く場
- ディスカッション 対話する**  
世代別でグループディスカッションをする場



美術作家  
小川 泰生  
長野県西駒郷支援員

# キュレーター

アート展を担当します。この機会に障がいのある方たちの作品に触れ、不思議なエネルギーや豊かな表情と対話してください。観る側に新たな気付きを与えてくれるはずです。



遊覧潜水 代表/  
おどりは主宰  
波多腰 運

作家  
カミジヨウミカ



# 作家

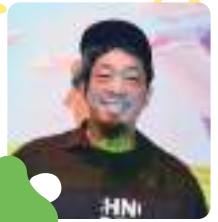
自分は身体障害があり、動かせる部分で大好きな創作活動をしています。創作活動を始めてずっとひとりで自宅にてコツコツと25年やり続けてます。今は障がい者アートが認知され、本当にありがたいです。今回参加できることを楽しみにしています。

私の研究テーマをわかりやすくすると、多様な学生が大学で学びやすくなるために何ができるかについての研究です。どうしたらそれが実現するか、いっしょに考えましょう。



信州大学  
教育学部  
教授  
高橋 知音

# ゲストスピーカー



ZOO 法人 Zooo 代表理事  
株式会社 デジリハ代表取締役  
岡 勇樹

医療福祉とエンターテインメントの領域で活動をして10年以上経ちますが、結局はラーメンを食いたい時にラーメンを食うということを誰もが実現できる社会がいいなと思います。鶏白湯が好きです。



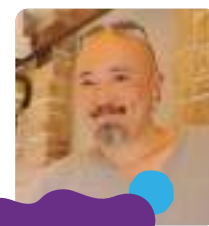
フリースクール  
アドバイザー  
市川 寛

私はよく「夢見家」と言われます。が、あえてこの場で呼びかけたい。障がい者というラベルが必要ない世界を想像し創造しませんか？子ども期を担当する立場から挑戦したい！



D.A.C所属  
パラ陸上競技選手  
池田 樹生

共生社会の実現に向けて一人一人が感じてる事やこれまで生きてきた中での体験を正直に分かち合った結果、豊かな時間を過ごせばと思います！よろしくお願いたします!!



グループホームこっこちち経営者  
ピアカウンセラー・障がい当事者  
山口 政佳

楽しい時間と空間を共有できたらいいな!と思っています。よろしくお願いたします!

# 10代の声



不満や願いを共有することが大切  
高校2年生 Fさん

世界には色々な人がいます。価値観や考え方が異なります。分かり合うことは難しいですが一人一人が社会への不満や願いを共有し合うことはできます。誰もが公平で生きやすい社会にできたらいいと思います。



気持ちをいろんな人と共有したい  
高校3年生 Hさん

コミュニケーションアート専攻の私はどんな人にも楽しんでもらえるような多種多様な企画を考えたいです。楽しいや好きという気持ちは世界共通でどんな人にもあるものです、その気持ちを色々な人と共有しあえることができれば、とても素敵だと思います。

アートをいろんな人に伝えたい  
高校2年生 Aさん



私は体験したお客さんが個性を表現でき、楽しいと思えるワークショップを大切にしたいと考えているので、アートをいろんな人に伝えたいという目標で、ワークショップを障がいをお持ちの方でも楽しめるようにしていきたいと思っています。



コミュニケーションを取ることが大事  
高校2年生 Wさん

僕の母は福祉施設で働いていて、小さな頃から利用者さんと関わりがあります。会う度に大きくなったって言ってくれるんですね。身体や精神に不自由な点があっても同じ人間です。見た目や判断する前に1度コミュニケーションをとる事が大切かなと思います。障がいがあってもなくてもお互いを知ることが学ぶこと、趣味などで様々な点で繋がれると思います。